

科目名		単位数	担当教員	区分
平成26年度以降	政治思想史 I	2	加地 直紀	
平成25年度以前	政治思想史 I	2		
教職	教員の免許状取得のための選択科目			教職
	教科に関する科目(中学校(社会)): 法律学、政治学			
	教科に関する科目(高等学校(公民)): 法律学(国際法を含む)、政治学(国際政治を含む)			
授業の到達目標及びテーマ				
授業の概要				
<p>200年以上に亘る鎖国の後、国際社会にデビューした日本は、欧米列強の帝国主義政策に直面する。したがって明治期日本の最大の課題は、列強の侵略からいかに独立を守るかであった。この課題への対策として産まれた思想が国権思想と民権思想であった。</p> <p>本講義では、近代日本における最大の思想家福澤諭吉を中心に、明治期日本の政治思想を解説する。</p>				
授業計画				
<p>第1回: 近代日本政治思想の概観 大正デモクラシー以前</p> <p>第2回: 近代日本政治思想の概観 大正デモクラシー以後</p> <p>第3回: 19世紀の国際社会 帝国主義</p> <p>第4回: 民権思想</p> <p>第5回: 国権思想</p> <p>第6回: 福澤諭吉の生涯 幕末期</p> <p>第7回: 福澤諭吉の生涯 明治期</p> <p>第8回: 福澤がみた欧米列強のアジア侵略</p> <p>第9回: 『学問のすゝめ』と『文明論之概略』</p> <p>第10回: 福澤と日清戦争①</p> <p>第11回: 福澤と日清戦争②</p> <p>第12回: 民権思想家 中江兆民①</p> <p>第13回: 民権思想家 中江兆民②</p> <p>第14回: 国権思想家 加藤弘之①</p> <p>第15回: 国権思想家 加藤弘之②</p> <p>試験(定期試験<筆記試験>)</p> <p>【履修上の注意事項】 履修者は、真摯な態度で受講すること(私語・飲食・途中退席厳禁)</p>				
テキスト				
なし。毎回出席し、充実した講義ノートを作成すること。				
参考書・参考資料等				
必要であれば、講義の際に指示する。				
学生に対する評価				
定期試験				

25年度以前
政治行政コース